

寄付を財源とした よこはまふれあい助成金 レポート

あなたの寄付で できること

あしおと で つなごう



障がいのある方もない方も、誰もが楽しめるタップダンスサークルが、毎月2回、市内の障害者地域活動ホームで開催されています。主催は「あしおとでつながろう！プロジェクト」そのサークルに参加して約1年になるアキさん（仮名）のお母さんである弘美さん（仮名）にお話を伺いました。

あしおとでつながろう！プロジェクトは、障がいのあるなしに関わらずさまざまな人が輪になっておどるタップセッション“おどりの輪”を通してそれぞれの違いを楽しみ尊重し合う社会をイメージするプロジェクトです。

健診、診断、療育「この子は普通だ」



娘は、3歳児検診で発達障害のグレーゾーンかもしれないと言われ、療育センターを勧められました。その時はあまりにショックで受け入れられず、とにかくインターネットでいろいろ調べました。結局悪い情報や噂ばかりで、どんどん不安になりました。

その頃は「この子は普通だ。成長すれば変わる」と思っていました。今考えればフツウって何？って言うことなんですが。ただ、通っていた幼児教室でも、ほかの子と様子が違いました。本人は楽しんでいたのですが、

当時は同世代の子と同じように行動できない娘を見るのが辛かったです。

ようやく半年後に受診し、アスペルガータイプの自閉症スペクトラムと診断されました。ああやっぱりか、とショックを受けましたが、そこから月2回～4回の療育サービスを受けました。もともと立ち歩きがひどい、痙攣を起こす、極端な偏食などがあったのですが、療育プログラムや先生方のご理解とご支援などにより、今ではだいぶ落ち着きも見せるようになり、小学校では一般級に通っています。

集団生活になじめず自信を無くしがちに

娘は慣れている場所や人の中では困ることは少ないですが、集団生活の場では様々な支度が遅れがちなのところがあります。また、たとえばおしゃべりでちょっと注意されることがあると、その注意を強く受け止めすぎてしまって「私はダメな子なんだ！」「うまくできない！」という風に自分を責めすぎてしまうことがあるようです。小学校に入学した時には、新しい生活で環境が変わったこともあって行きたくない様子を見せたこともありました。



タップダンスとの出会い、サークルとの出会い



このサークルは、インターネットで探しました。45分という短い時間や自由なダンスのプログラムが娘にあっていてと思ったからです。

はじめての時はやっぱり緊張しました。親子共に未経験でしたし、娘の特性上、初めてのことは特に不安を感じやすいと思っていたので。

でも、なじみのメロディをベースに、(主催者の)おどるなつこさんのリズムを真似することですんなりと輪に入れて、とても楽しんでいました。

普段、障害のある子の親として常に周囲に気を使ってしまうのですが、メンバーのみなさんが屈託なく、私のことも友人のように迎えてくれ、心の垣根が取り払われました。ここでは気取ることなくほっと安心できます。

ここに通うようになって「自分にも得意な事がある」「やればできる」といった娘の自信につながっています。また「他の人のリズムに耳を傾けて模倣する」プログラムによって注目する姿勢や協調性と言ったコミュニケーション力が育まれているように思います。

おどるなつこさんのような方の活動に参加できて、本当に良かったと思っています。



娘への感謝 ～モノサシを自分に取り戻す～



診断が出た当時はショックを受けていましたが、今では娘に感謝しています。なぜなら、娘の特性のおかげで、今までとは違った視点や価値観を持つことが出来るようになったからです。娘を育てるまで、私は人の目を気にして、社会的な常識が全ての行動基準でした。

実は私は大学生の時、引きこもりになった事があります。自分に自信が無く、生きていく価値や存在意義がわからず、この世から消

えてしまいたいと思ったこともありました。

一人目の息子の育児も、とにかく社会的な標準から外れていないか、社会に出しても恥ずかしくないように育てなければ!!と必死でした。

そんな、外にモノサシを求め、自分を無理やり押し込めていた私の生き方を、アキの存在や特性が、見事に、半ば強引に(笑)ひっくり返したのです。

「他の子と比べて」ではなく「以前の本人と比べて」どう成長できたか、に注目する。「自分はダメ人間だ！」と思う事もあるかも知れないけど、「自分にもある良い所」を一緒に見つける。



もちろん「誰とでも仲良し」「裏表なく思ったままを素直に表現する」といった特性も羨ましい限りです。

モノサシを自分に取り戻す。ありのまま、今の自分で良い！ということ、アキに教わりました。ありのままの自分を認める=他者も認めて違いを受け入れられる自己尊重。自己価値を認め、自信を育む事の重要性を感じます。これらが当たり前の中になるよう切に願うばかりです！

年齢、性別、特性の違いを超えて様々な人とつながりあえるこの活動が今後もさらに広がっていくことを願っています。

取材を終えて

今回は「あしおとでつながろう！プロジェクト」に参加するアキさんのお母さん弘美さんからお話をうかがいました。健診で療育センターでの受診を勧められ、親だからこそ葛藤や悩みを抱えながら少しずつ受け入れていった弘美さん。その中でアキさんから教わった「自分のモノサシ」。タップダンスという、ともすると福祉とは結びつかないものが持つ可能性など、たくさんを知ることができました。

また、このタップダンスサークルは、参加する方みなさんが笑顔で、取材した私たちにも「どこからきたの」と気さくに声をかけてくれたり、自慢のダンスを披露してくださる方がいたり、アットホームで楽しい時間でした。

よこはまふれあい助成金では皆様からの寄付を財源に「あしおとでつながろう！プロジェクト」のほか、横浜市内の2,000を超えるボランティア団体・障害当事者団体等へ支援を行っています。

横浜では様々な市民活動が一人ひとりの暮らしを支えています。自分一人ですべてに参加する事はできなくても、寄付でこのような活動を応援することが、アキさんや弘美さんの心豊かな暮らしにつながります。

誰もが安心して自分らしく暮らせる横浜を
あなたの寄付が創ります



■よこはまあいあい基金（福祉団体助成金として）■

よこはまふれあい助成金の財源として市内 2,000 を超える
ボランティア団体・障害当事者団体等支援に活用されます

三井住友銀行 横浜中央支店 （普）2502712 フク) ヨコハマシヤカイフクシキョウギカイ
福)横浜市社会福祉協議会

■福祉基金（横浜市社協独自事業の財源として）■

横浜市社会福祉協議会事業財源として、困っている人を地域とともに支える
取組み等に活用されます

三井住友銀行 横浜中央支店 （普）105864 フク) ヨコハマシヤカイフクシキョウギカイ
福)横浜市社会福祉協議会

社会福祉法人
横浜市社会福祉協議会
横浜市ボランティアセンター
寄付文化醸成担当 045-201-8620



ほら、よこはまは
あったかい